

# Azure無料アカウント完全ガイド: 条件、特典、登録手順、注意点まで徹底解説

## 1. はじめに

### Azure無料アカウントとは何か？

Microsoft Azure無料アカウントは、Microsoftが提供するクラウドプラットフォームAzureの様々なサービスを、一定期間または一定量まで無料で試用できるプログラムです<sup>1</sup>。開発環境の構築、AI（人工知能）や機械学習の機能検証、あるいは単にAzureの提供する多種多様なサービスを評価したい場合など、クラウドの可能性を探求するための理想的な出発点となります<sup>3</sup>。

### 無料アカウントの主な利点

Azure無料アカウントを利用する最大の利点は、初期費用を負担することなくAzureの世界に足を踏み入れられる点にあります<sup>5</sup>。これにより、ユーザーは金銭的なリスクを心配せずに、仮想マシン、データベース、Webアプリケーションホスティング、AIサービスといったAzureの豊富な機能を実際に操作し、自身の学習や技術的な検証、小規模なプロジェクト開発に役立てることが可能です<sup>7</sup>。さらに、Azure無料アカウントは単一の特典ではなく、「最初の30日間利用可能なクレジット」、「12ヶ月間無料の人気サービス」、「常時無料のサービス」という3つの異なる形態の無料枠を提供しており、ユーザーはこれらの組み合わせによって柔軟にAzureを試すことができます<sup>9</sup>。

### 本ガイドで解説する内容

本ガイドでは、Azure無料アカウントを最大限に活用するために知っておくべき情報を網羅的に解説します。具体的には、提供される3つの無料枠の詳細な内容、アカウント作成に必要な条件（電話番号やクレジットカード等）と具体的な登録手順、無料試用期間が終了した後のアカウントの扱い、そして利用する上での重要な注意点や制限事項について、公式情報と実践的な知見を基に、順を追って詳しく説明していきます。

## 2. Azure無料アカウントの特典: 3つの無料枠を理解する

Azureの無料提供は単純なものではなく、3つの異なる要素で構成されています。これは、ユーザーの多様なニーズに応えるように設計されており、即時かつ広範な探索（クレジット）、主要サービスに関する長期的な経験（12ヶ月無料）、基本的なユーティリティの持続的な使用（常時無料）を可能にします。この構造を理解することが、無料試用版の価値を最大限に引き出す鍵となります。

### 特典1: 最初の30日間利用可能なクレジット

Azure無料アカウントに新規登録すると、最初の30日間有効なクレジットが付与されます<sup>1</sup>。日

本円での提供額は通常**22,500円**ですが、グローバルでは**USD \$200**相当として提供されることが一般的です<sup>1</sup>。このクレジットは、Azureが提供するほぼ全ての有料サービス(後述の12ヶ月無料や常時無料の対象外サービスも含む)を試用するために利用できます<sup>6</sup>。これにより、ユーザーは短期間でAzureの広範なポートフォリオを自由に探索し、様々なサービスを組み合わせてテストすることが可能です。ただし、このクレジットの有効期限は、アカウント登録日から**30日**が経過するか、クレジットを全額使い切った時点のいずれか早い方となります<sup>12</sup>。この期間限定の予算は、ユーザーに迅速な評価を促すインセンティブとして機能します。

## 特典2: 12ヶ月間無料の人気サービス

クレジットとは別に、Azureの新規ユーザー限定で、アカウント作成日から**12ヶ月間**、特定の人気サービスを毎月定められた上限まで無料で利用できる特典が提供されます<sup>6</sup>。これは、Azureの基本的な構成要素となるような、より一般的なクラウドワークロードに慣れ親しむ機会を提供することを目的としています。

代表的な対象サービスには以下のようなものがありますが、無料枠には月ごとの利用上限があり、対象となるサービスの種類やインスタンスタイプ(例: 仮想マシンのサイズ)も限定されている点に注意が必要です<sup>5</sup>。

- **Azure Virtual Machines (VM):** LinuxおよびWindowsの特定のバースト可能VM(例: B1s, B2pts v2, B2ats v2)がそれぞれ月750時間まで無料<sup>14</sup>。
- **Azure Blob Storage:** 特定の構成(例: LRSホットブロック)で5GBまでのストレージ容量と、一定回数までの読み取り/書き込み操作が無料<sup>14</sup>。
- **Azure SQL Database:** サーバーレスコンピューティングオプションで一定のvCore秒数とストレージ容量まで無料<sup>15</sup>。
- その他: Azure AIサービスの一部(例: Document Intelligence, Custom Vision)なども、制限付きで12ヶ月無料の対象となる場合があります<sup>15</sup>。

これらのサービスを利用することで、ユーザーはより長期間にわたって、実際のアプリケーション構築や運用に近い経験を積むことができます。ただし、意図せず無料枠を超過しないよう、利用前に対象サービスの詳細と制限量を公式ドキュメントで確認することが不可欠です<sup>5</sup>。

## 特典3: 常時無料のサービス

Azureアカウントを保有している限り、期間無制限で特定のサービスを毎月一定量まで無料で利用できる枠も存在します<sup>9</sup>。これは、無料アカウントの試用期間が終了し、後述する従量課金プランに移行した後も継続して利用可能です<sup>6</sup>。このカテゴリーのサービスは、小規模なアプリケーションのホスティング、基本的な管理機能、開発・テスト目的での利用に適しています。

常時無料の代表例としては以下が挙げられます。

- **Azure App Service:** Freeプランを利用することで、少数のWebアプリ、モバイルバック

エンド、APIアプリを無料でホスティング可能(ただし、コンピューティングリソースやストレージに制限あり)<sup>14</sup>。

- **Azure Functions:** サーバーレスコンピューティングサービスで、毎月一定回数(例: 100万回)までの実行が無料<sup>14</sup>。
- **Azure Cosmos DB:** NoSQLデータベースサービスで、一定のスループット(要求ユニット/秒)とストレージ容量まで無料<sup>14</sup>。
- **Microsoft Entra ID (旧 Azure AD):** 基本的なID管理機能は無料で利用可能<sup>8</sup>。
- **Virtual Network:** 仮想ネットワークの作成自体は無料(最大50ネットワークまで)<sup>9</sup>。
- その他: Azure Advisor(推奨事項)、Azure AI Bot Service(標準チャネル)、Azure AI Search(小規模インデックス)など、多数のサービスが常時無料枠を提供しています<sup>15</sup>。

これらのサービスは、Azureプラットフォーム上で継続的に最小限のプレゼンスを維持することを可能にし、将来的な有料リソースへの拡張の足がかりとなります。ただし、App Serviceのように日ごとや月ごとに利用上限が細かく設定されている場合もあるため、こちらも利用前に制限を確認することが重要です<sup>9</sup>。

#### 主要な無料サービス一覧(代表例と制限量)

Azure無料アカウントで利用できる主要なサービスとその無料枠を以下の表にまとめます。これは網羅的なリストではありませんが、特に利用頻度が高いと考えられる代表的なサービスとその制限量を示しています。最新かつ完全な情報は、必ずAzureの公式ドキュメントでご確認ください<sup>15</sup>。

サービス名	無料枠の種類	月間無料枠/制限量	主な制約事項・注意点
Azure Virtual Machines	12ヶ月無料	Windows/Linux 各 B1s, B2pts v2, B2ats v2 インスタンス それぞれ <b>750時間</b>	対象インスタンスタイプ限定
Azure Blob Storage	12ヶ月無料	LRS ホットブロック <b>5GB</b> 、読み取り <b>20,000</b> 操作、書き込み <b>10,000</b> 操作	ストレージタイプ、冗長性、アクセス層が限定
Azure SQL Database	常時無料	サーバーレス <b>100,000 vCore秒</b> 、ストレージ <b>32GB</b>	データベース数上限あり(例: 10個)
Azure App Service	常時無料	<b>10個の</b> Web/Mobile/APIアプリ	Freeプラン限定、コンピューティング時間制限

		り、1GB ストレージ	あり (日次)
Azure Functions	常時無料	100万リクエスト	
Azure Cosmos DB	常時無料	1,000 RU/s スループット、25GB ストレージ	
Microsoft Entra ID (旧 AD)	常時無料	基本機能 (ユーザー/グループ管理など)	Premium機能は有料
Azure AI Translator	常時無料	Free レベル 200万文字	
Azure Advisor	常時無料	無制限	推奨事項の提供

この表は、ユーザーが実際に無料で利用できるサービスの具体例とその範囲を素早く把握するのに役立ちます。

### 3. 無料アカウント作成に必要なもの

Azure無料アカウントを作成するためには、いくつかの条件を満たし、必要な情報を提供する必要があります。

#### 対象ユーザー条件

Azure無料アカウント、特に最初の30日間利用可能なクレジット(22,500円 / \$200 USD相当)が付与される特典は、原則として過去に**Azure**無料アカウントを利用したことがない新規の**Azure**ユーザーを対象としています<sup>5</sup>。Microsoftは、この特典が一人一回限りとなるよう、後述する電話番号やクレジットカード情報を利用して管理しています。そのため、過去に無料アカウントを作成したことがある場合、再度クレジット特典付きの無料アカウントを作成することは基本的にできません<sup>5</sup>。

#### MicrosoftアカウントまたはGitHubアカウント

Azureサービスへのサインインと管理には、**Microsoft**アカウント(例: outlook.com, hotmail.com のアドレスや、Microsoft 365で使用している組織アカウント)または**GitHub**アカウントが必要です<sup>1</sup>。どちらのアカウントも持っていない場合は、Azure無料アカウントのサインアッププロセス中に無料で新規作成することができます<sup>1</sup>。

#### 有効な電話番号(本人確認用)

アカウント作成プロセスの一環として、有効な電話番号を用いた本人確認が必須となります<sup>1</sup>。

登録画面で電話番号を入力すると、その番号宛にSMS(ショートメッセージサービス)または自動音声通話で確認コードが送信されます。このコードを入力することで、アカウント所有者が実在する人物であることを証明します<sup>1</sup>。SMSが受信できる携帯電話番号の使用が一般的ですが、固定電話番号も利用可能です<sup>5</sup>。ただし、過去に別のAzure無料アカウントのサインアップで使用された電話番号は、重複利用とみなされ、受け付けられない可能性が高い点に注意が必要です<sup>5</sup>。

### クレジットカードまたはデビットカード(非プリペイド)

Azure無料アカウントの作成には、有効なクレジットカードまたはデビットカードの登録が必須です<sup>1</sup>。これは主に、アカウント作成者が実在の人物であり、自動化されたボットなどによる不正利用ではないことを確認するための本人確認を目的としています<sup>9</sup>。

重要な点として、以下の要件と注意点があります。

- プリペイドカードは使用できません<sup>6</sup>。通常の銀行発行のクレジットカードまたはデビットカードが必要です。
- 一部の地域(香港特別行政区、ブラジル)では、クレジットカードのみが受け付けられます<sup>6</sup>。
- サインアップ時に、カードの有効性を確認するために一時的に少額(例: 1米ドルまたは日本円でそれに相当する額)の承認が行われる場合があります。これは実際の請求ではなく、通常は数日以内に自動的にキャンセル(返金)されます<sup>16</sup>。
- 無料アカウントの期間中に、ユーザーが明示的に有料プラン(従量課金制)へアップグレードしない限り、登録したカードに対して料金が請求されることはありません<sup>16</sup>。
- 過去に他のAzure無料アカウントの作成や、Azureサービスの支払いに使用されたクレジットカードやデビットカードは、新しい無料アカウントでのクレジット特典(22,500円 / \$200 USD)を受け取る資格がないと判断される可能性があります<sup>5</sup>。Microsoftは、無料特典の不正利用を防ぐためにカード情報を照合しています。

このカード情報の要求は、単なる本人確認だけでなく、将来的にユーザーが有料プランへ移行する際のプロセスを円滑にするという側面も持ち合わせています。支払い情報が既に登録されていることで、アップグレード時の手続きが簡略化されます。

### 学生向け特典: Azure for Studentsについて

上記の標準的な無料アカウントとは別に、学生を対象とした特別な無料プログラム「**Azure for Students**」が提供されています<sup>7</sup>。

- 対象: 有効な大学または学校のメールアドレスを持つ学生<sup>20</sup>。
- 最大の利点: クレジットカードの登録が不要です<sup>20</sup>。学生であることを学校のメールアドレスで証明します。
- 提供内容: 標準の無料アカウントとは異なり、USD \$100相当のAzureクレジットが付与さ



れ、一部の無料サービス(12ヶ月無料、常時無料を含む)へのアクセスが可能です<sup>7</sup>。クレジット額は標準アカウントより少ないですが、カード不要というメリットは大きいでしょう。

- 有効期間と更新: アカウントは12ヶ月間有効です。学生である限り、毎年更新することが可能です<sup>20</sup>。

このプログラムは、将来のITプロフェッショナルや開発者となる学生層に、早期からAzureに触れる機会を提供することを目的としています。クレジットカードを持たないことが多い学生にとって、Azureを試すための障壁を大幅に低減する有効な選択肢です。

## 4. Azure無料アカウント作成のステップバイステップ手順

以下に、Azure無料アカウントを作成するための具体的な手順を解説します。画面の表示は時期によって若干変更される可能性がありますが、基本的な流れは共通です。

### 公式サイトへのアクセスと開始

まず、Webブラウザを開き、Azure無料アカウントの公式ページ(例: <https://azure.microsoft.com/ja-jp/free/>)にアクセスします<sup>1</sup>。ページ上に表示されている「無料で始める」や「**Start free**」といったボタンをクリックして、サインアッププロセスを開始します<sup>1</sup>。

### アカウントでのサインインまたは新規作成

次に、Azureを利用するためのアカウントでサインインします。既存の**Microsoft**アカウント(個人用または組織アカウント)または**GitHub**アカウントを使用できます<sup>1</sup>。

- 既存アカウントでサインイン: メールアドレスまたはユーザー名を入力し、パスワード認証を行います<sup>1</sup>。
- アカウント新規作成: アカウントを持っていない場合は、「作成」や「Create one」といったリンクをクリックし、画面の指示に従って新しいMicrosoftアカウントを作成します<sup>1</sup>。これには、メールアドレスの指定、パスワードの設定、氏名の入力、メールアドレスの所有確認(認証コードの入力)などが含まれます<sup>1</sup>。

### プロフィール情報の入力

サインイン後、Azureアカウントのプロフィール情報を入力する画面が表示されます。ここでは以下の情報を正確に入力する必要があります<sup>1</sup>。

- 国/地域
- 氏名(名、姓)
- メールアドレス(サインインに使用したもの)
- 電話番号(次のステップで本人確認に使用)
- (必要に応じて)組織名、住所など

これらの情報は、アカウントの所有者を特定し、地域に応じたサービス提供や、将来的な請求（アップグレードした場合）のために重要となります。

### 電話番号による本人確認プロセス

プロフィール情報で入力した電話番号を使用して、本人確認を行います。

1. 確認方法として「テキストメッセージを送信する (SMS)」または「電話をかける (自動音声)」を選択します<sup>1</sup>。SMSが受信できる携帯電話がよりスムーズな場合が多いです。
2. 選択した方法で、指定した電話番号に6桁程度の確認コードが送信されます<sup>1</sup>。
3. 受信した確認コードを画面上の入力欄に入力し、「コードの確認」またはそれに類するボタンをクリックします<sup>1</sup>。

### 支払い情報(クレジットカード)の入力と確認

電話番号による本人確認が完了すると、支払い情報の入力画面に進みます。ここで、前述の要件を満たす\*\*有効なクレジットカードまたはデビットカード(非プリペイド)\*\*の情報を入力します<sup>1</sup>。

- カード名義人氏名
- カード番号
- 有効期限 (月/年)
- セキュリティコード (CVV/CVC)
- 請求先住所(プロフィール情報で入力した住所が自動入力されることが多いですが、必要に応じて修正します)<sup>1</sup>

繰り返しになりますが、このステップは主に本人確認が目的であり、ユーザーが自ら有料プランへアップグレードしない限り、この段階で料金が請求されることはありません<sup>6</sup>。カード情報の入力に抵抗があるかもしれませんが、Azure無料アカウント(標準版)を利用するための必須プロセスです。一時的な承認確認(例: \$1)が行われる可能性があることも念頭に置いてください<sup>16</sup>。

### 契約条件への同意とサインアップ完了

支払い情報の入力後、最後に契約条件の確認と同意を行います。

1. 「サブスクリプション契約」、「オファーの詳細」、「プライバシーに関する声明」といったドキュメントへのリンクが表示されるので、内容を確認します<sup>1</sup>。
2. 内容に同意する場合、「同意します」といったチェックボックスにチェックを入れます<sup>1</sup>。
3. オプションとして、Microsoftからの製品情報やオファーに関するメール受信を希望するかどうかのチェックボックスが表示される場合があります<sup>1</sup>。これは任意です。
4. すべての入力と確認が完了したら、「サインアップ」ボタンをクリックします<sup>1</sup>。

## Azureポータルへの初回アクセス

「サインアップ」ボタンをクリックすると、アカウント設定の処理が開始され、通常は数分で完了します<sup>5</sup>。完了すると、「ポータルに移動」といったボタンが表示されるので、これをクリックします<sup>1</sup>。

これにより、Azureの管理コンソールであるAzureポータル (<https://portal.azure.com/>) にリダイレクトされます。初めてアクセスする際には、簡単なチュートリアルやガイドが表示されることがありますが、スキップすることも可能です<sup>5</sup>。ポータルのダッシュボード画面が無事に表示されれば、Azure無料アカウントの作成は完了し、サービスの利用を開始できる状態です。画面右上の通知(ベルのアイコン)を確認すると、無料クレジットが付与された旨のメッセージが表示されているはずです<sup>1</sup>。

## 5. 無料期間終了後のアカウントの扱い

Azure無料アカウントの特典には期限があります。期間終了後、アカウントや作成したリソースがどうなるのかを理解しておくことは非常に重要です。

### 無料期間終了の条件

Azure無料アカウントの主要な特典である「最初の30日間利用可能なクレジット」は、以下のいずれかの条件が満たされた時点で終了となります<sup>10</sup>。

1. アカウント登録日から**30日**が経過した場合<sup>12</sup>。
2. 付与されたクレジット(例: **22,500円 / \$200 USD**)をすべて使い切った場合<sup>12</sup>。

これらのうち、どちらか早い方が適用されます<sup>6</sup>。例えば、登録から15日目にクレジットをすべて使い切った場合、その時点でクレジットによる無料試用は終了します。

なお、「12ヶ月間無料の人気サービス」の特典は、アカウント作成日から12ヶ月間有効です<sup>9</sup>。ただし、クレジット期間終了後に従量課金へアップグレードしない場合、これらのサービスも利用できなくなります。

### 自動課金はされないことの確認

多くのユーザーが懸念する点ですが、Azure無料アカウントは、無料期間が終了しても自動的に有料プランに移行し、課金が始まることはありません<sup>5</sup>。これはAzure無料アカウントの非常に重要な特徴であり、ユーザーが意図しない請求を心配することなく試用を開始できる大きな理由の一つです。

無料期間の終了が近づくか、クレジットを使い切ると、Microsoftからアカウント所有者宛にメールなどで通知が送られ、サービスを継続利用するために従量課金制 (**Pay-as-you-go**) プランへアップグレードするかどうかの意思確認を求められます<sup>6</sup>。ユーザーが明示的にアッ



プグレード操作を行わない限り、料金が発生することはありません<sup>6</sup>。このユーザー主導のアップグレードプロセスは、予期せぬ課金リスクを低減し、ユーザーとの信頼関係を構築する上で重要な役割を果たしています。

### 従量課金制へのアップグレードオプション

無料アカウントで作成したリソース（仮想マシン、データベース、アプリケーションなど）を引き続き利用したい場合や、無料枠を超えてAzureサービスを利用したい場合は、従量課金制サブスクリプションへのアップグレードを選択できます<sup>6</sup>。アップグレードは、無料期間中または期間終了後に、Azureポータルを通じて行うことが可能です<sup>16</sup>。

従量課金制へアップグレードするメリットは以下の通りです。

- 作成済みのリソースやデータを失うことなく、サービスを継続して利用できます<sup>6</sup>。
- 「12ヶ月無料の人気サービス」や「常時無料のサービス」の無料枠は引き続き適用されます。料金が発生するのは、これらの無料枠を超過した分、または無料枠の対象外となるサービスを利用した場合のみです<sup>6</sup>。
- 無料期間中にアップグレードした場合でも、残っているクレジットは元の有効期限（登録から30日間）まで利用可能です<sup>6</sup>。クレジットを無駄にすることなく、スムーズに有料プランへ移行できます。

### アップグレードしない場合の結果

無料期間終了後（クレジット枯渇または30日経過後）に、従量課金制へのアップグレードを行わなかった場合、以下のような結果となります。

- Azure無料アカウントのサブスクリプションは無効化されます<sup>6</sup>。
- アカウントに関連付けられているすべてのサービス（仮想マシン、Webアプリ、データベースなど）が停止し、アクセスできなくなります<sup>6</sup>。
- 無効化された状態が一定期間続くと、作成したリソースやデータは最終的に削除される可能性があります<sup>9</sup>。具体的な保持期間は明示されていない場合が多いですが、重要なデータや設定は期間終了前にバックアップまたは移行しておく必要があります。
- サービスを再開したい場合は、後からでも従量課金制へのアップグレードを行う必要があります<sup>6</sup>。

つまり、アップグレードしないという選択は、単にサービスが停止するだけでなく、試用期間中に構築した環境やデータが失われるリスクを伴います。無料期間の終了を見据え、事前にアップグレードするか、必要なデータを退避させるかの計画を立てておくことが賢明です。

## 6. Azure無料アカウント利用上の注意点と制限事項

Azure無料アカウントは非常に有用ですが、その利用にあたってはいくつかの注意点と制限事

項を理解しておく必要があります。

#### 無料枠の利用制限と超過時の扱い

「12ヶ月無料」および「常時無料」で提供されるサービスには、コンピューティング時間（例：VMの稼働時間）、ストレージ容量、データベースのスループット、API呼び出し回数などに関して、厳格な月間（または日次）の上限が設けられています<sup>8</sup>。これらの上限はサービスごとに異なるため、利用するサービスの無料枠の詳細を正確に把握しておくことが重要です。

- クレジット期間中（最初の30日）：無料枠の上限を超過した場合、または無料枠の対象外となるサービス（例：12ヶ月無料対象外のVMサイズを利用した場合<sup>5</sup>）を利用した場合、その超過分は付与されたクレジットから消費されます<sup>6</sup>。
- 従量課金へアップグレード後：アップグレードした後は、同様に無料枠の上限を超過した分の利用量が従量課金の対象となり、登録した支払い方法に対して請求が発生します<sup>6</sup>。

無料枠の存在は魅力的ですが、その制限は複雑な場合があります。意図しないクレジットの枯渇や、アップグレード後の予期せぬ課金を避けるためには、Azureポータルに用意されているコスト管理 (**Cost Management**) ツールなどを活用し、自身の利用状況と消費量を定期的に監視することが強く推奨されます<sup>9</sup>。Cost Management自体は常時無料サービスの一つであり<sup>9</sup>、これを使ってリソースごとのコストやクレジット残量を確認する習慣をつけることが、無料アカウントを賢く利用する鍵となります。

#### アカウント作成の制限（1人1回、電話番号/カード再利用不可）

前述の通り、Azure無料アカウント（特にクレジット特典が付随するもの）は、原則として1人（1つのID）につき1回限りの提供となっています<sup>5</sup>。Microsoftは、この制限を徹底するため、アカウント作成時に登録された電話番号とクレジットカード/デビットカード情報を記録し、再利用をチェックしています<sup>5</sup>。

したがって、過去に一度でもAzure無料アカウントを作成した際に使用した電話番号やカード情報は、新しい無料アカウントの作成には原則として利用できません<sup>5</sup>。もし過去に利用した情報で再度サインアップしようとする、エラーが発生したり、クレジット特典が付与されなかったりする可能性があります<sup>5</sup>。これは、無料特典の乱用を防ぎ、本来の対象である新規ユーザーに公平に機会を提供するための措置です。

#### クレジット利用対象外のサービス

付与される無料クレジット（22,500円 / \$200 USD）は、ほとんどのAzureサービスに適用できますが、一部対象外となるものがあります。例えば、以下のような費用にはクレジットが充当できない場合があります。

- **Azureサポートプラン**：Standard以上の有償サポートプランの料金<sup>23</sup>。

- 一部のサードパーティ製マーケットプレイス製品: Azure Marketplaceで提供されているサードパーティ製のソフトウェアやサービスのライセンス料など<sup>23</sup>。
- **Azure**とは別に販売される製品: Microsoft Entra IDのPremium P1/P2ライセンスなど、Azureサービス利用料とは体系が異なる一部のライセンス製品<sup>23</sup>。

クレジットは主にAzureプラットフォーム自体のサービス利用料を試すためのものであり、関連するすべての費用をカバーするわけではない点に留意が必要です。

## 利用状況の監視の重要性

無料枠内での利用を心がけている場合でも、利用状況の監視は不可欠です。意図せずに無料枠を超過してしまう可能性は常にあります(例: VMを停止し忘れる、想定外のデータ転送料金が発生する、など)。Azureポータルには、コスト分析、予算設定、アラート通知などの機能を提供する「Cost Management + Billing」セクションがあります<sup>9</sup>。これらのツールを積極的に活用し、現在の消費量、クレジット残量、コスト予測などを定期的に確認することで、予期せぬ事態を防ぐことができます。

## 7. まとめ

### Azure無料アカウント活用の要点

Azure無料アカウントは、Microsoft Azureの強力なクラウド機能をリスクなく試用し、学習するための優れた手段です。このガイドで解説した要点を以下にまとめます。

- **3つの無料枠:** アカウントには「30日間有効なクレジット(22,500円 / \$200 USD相当)」、「12ヶ月間無料の人気サービス」、「常時無料のサービス」という3種類の特典が含まれます。それぞれの内容と制限を理解し、目的に応じて計画的に活用することが重要です<sup>9</sup>。
- **必要なもの:** 作成には、MicrosoftアカウントまたはGitHubアカウント、本人確認用の有効な電話番号、そして非プリペイドのクレジットカードまたはデビットカードが必要です(Azure for Studentsを除く)<sup>1</sup>。
- **自動課金なし:** 無料期間が終了しても、ユーザーが明示的に従量課金プランへアップグレードしない限り、自動的に課金されることはありません<sup>6</sup>。ただし、サービスを継続利用するにはアップグレードが必要です。
- **制限と監視:** 各無料枠には利用上限があります。意図しないクレジット消費や課金を避けるため、利用制限を常に意識し、Azureポータルのコスト管理ツールで利用状況を監視することが不可欠です<sup>9</sup>。また、無料アカウントは原則1人1回限りです<sup>5</sup>。

### 次のステップへの推奨

Azure無料アカウントの概要を理解したら、以下のステップに進むことをお勧めします。

1. **アカウント作成とポータル探索:** まずは本ガイドの手順に従って無料アカウントを作成し、Azureポータルにログインして、どのような管理画面や機能があるのかを実際に見て回り

ましょう<sup>1</sup>。

2. 小規模な試用: AzureクイックスタートセンターやMicrosoft Learnのチュートリアルなどを参考に、簡単なサービス(例: Windows/Linux仮想マシンの作成、シンプルなWebアプリのデプロイ、ストレージアカウントの操作など)を試してみましょう<sup>7</sup>。これにより、実際の操作感や基本的な概念を掴むことができます。
3. 計画的な利用: 無料クレジットや12ヶ月無料枠には限りがあります。試したいサービスや学習したい内容をある程度絞り込み、計画的にリソースを利用することを心がけましょう。
4. 期間終了への備え: 無料期間(特にクレジットの30日間)の終了が近づいてきたら、作成したリソースを今後どうするか(従量課金へアップグレードして継続利用するか、不要であれば削除するか、データをエクスポートするかなど)を決定し、必要な対応を行ってください。

Azure無料アカウントを有効活用することで、クラウド技術のスキルアップや、ビジネスにおけるAzure導入の可能性検討に大いに役立てることができるでしょう。

## 引用文献

1. Azure アカウント登録方法を伝授(2020年版), 4月 17, 2025にアクセス、  
[https://cloud.sojitz-ti.com/blog/azure\\_registration2020/](https://cloud.sojitz-ti.com/blog/azure_registration2020/)
2. Azure無料アカウント(無料試用版)のアップデート - S/N Ratio, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://satonaoki.wordpress.com/2017/10/18/azure-free-account/>
3. Azure無料アカウントの全知識！特典と注意点、サービスを解説 - 株式会社アドカル, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.adcal-inc.com/column/azure-free/>
4. トライアルは可能ですか？ | Azure相談センター | SB C&S株式会社, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://licensecounter.jp/azure/faq/trial/free-trial.html>
5. Azure サブスクリプションをサインアップする #初心者 - Qiita, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://qiita.com/carol0226/items/066c06d95cb68427f1d0>
6. Azure の無料アカウントを作成するか、プリペイドで支払う ..., 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/purchase-options/azure-account>
7. Azure の使用を開始する - はじめに, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/get-started>
8. Azureの無料アカウントとは？作成方法やできることを徹底解説！, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.ai-souken.com/article/azure-free-account-explanation>
9. Azureの無料アカウントをフル活用しよう | 利用方法を解説, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.cloud-for-all.com/azure/blog/take-full-advantage-of-azure-free-account>
10. Microsoft Azureの無料アカウントを使ってできること - システムエグゼコーポレートサイト, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.system-exe.co.jp/msazure03/>
11. Microsoft Azureはクレジットカードなしで体験できるのか？, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.acrovision.jp/service/azure/?p=1258>
12. Azureの無料アカウントを取ってみた | rone - note, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://note.com/nerone1024/n/n1d97d93f3430>
13. 【AZ-900】Azure無料アカウントの作成方法と注意点まとめ, 4月 17, 2025にアクセス、

- <https://az-start.com/azure-create-free-account/>
14. Azure 無料アカウントについてのまとめ - Qiita, 4月 17, 2025にアクセス、  
[https://qiita.com/fumi\\_13/items/e2be0339c209c56f6e74](https://qiita.com/fumi_13/items/e2be0339c209c56f6e74)
  15. 無料の Azure サービスを検討する | Microsoft Azure, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/free-services>
  16. Create Your Azure Free Account Or Pay As You Go | Microsoft Azure, 4月 17, 2025  
にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/purchase-options/azure-account>
  17. Create Your Azure Free Account Today, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/Free>
  18. 無料の範囲で Microsoft Azure を試してみる - Qiita, 4月 17, 2025にアクセス、  
[https://qiita.com/so\\_nkbys/items/523a11dc4e2828e97506](https://qiita.com/so_nkbys/items/523a11dc4e2828e97506)
  19. Microsoft Azure Free Account Sign-Up - ElectronicWings, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://www.electronicwings.com/azure/microsoft-azure-free-account-sign-up>
  20. Azure for Students – Free Account Credit | Microsoft Azure, 4月 17, 2025にアクセ  
ス、<https://azure.microsoft.com/en-us/free/students>
  21. Create Your Azure Free Account Or Pay As You Go | Microsoft Azure, 4月 17, 2025  
にアクセス、<https://azure.microsoft.com/en-us/free/>
  22. How to Create Azure Free Account - Steps Explained - K21Academy, 4月 17, 2025  
にアクセス、  
<https://k21academy.com/microsoft-azure/create-free-microsoft-azure-trial-account/>
  23. Azure Government 無料試用版, 4月 17, 2025にアクセス、  
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/offers/ms-azr-usgov-0044p>